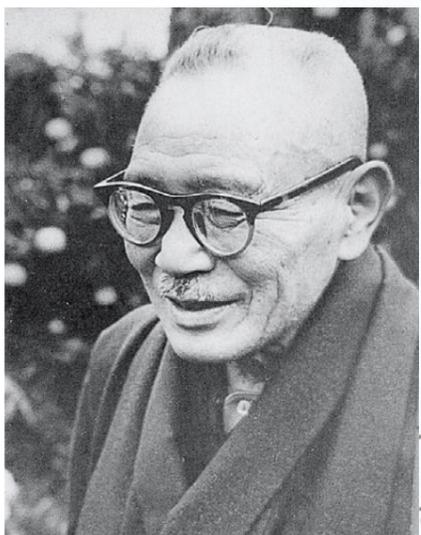


# 文人 浪漫



氏名	略歴
1 佃一誠	勸業銀行理事
2 馬淵鋭太郎	京都市長
3 佐々熊太郎	実業家、大蔵省専売局、東亜煙草社長
4 三好成行	男爵、陸軍中尉（歩）
5 川村竹治	和歌山県知事、満鉄総裁、台湾総督
6 吉松茂太郎	海軍大将
7 仁礼景範	子爵、海軍中尉、大臣
8 加藤友三郎	子爵、元帥、日本海軍連合艦隊参謀長、海将、首相
9 齋藤実	子爵、海軍大将、朝鮮総督、首相、
10 今津孝則	陸軍大将（砲）
11 河原要一	海軍中将、日清戦争吉野艦長
12 寺垣猪三	海軍中将、横須賀参謀長
13 木村荘介	海軍医総監
14 中山長明	海軍少将、舞鶴港務部長
15 岩崎達人	海軍少将
16 山田陽朔	実業家、山中銀行役員
17 税所篤文	陸軍少将（砲）旅順要塞司令官
18 隅元正次	陸軍少将（砲）野砲第2旅団長
19 駒沢伝吉	実業家、貸地・貸家業、日本セルロイド社長
20 大迫尚道	本名新八郎、陸軍大将、砲兵監、軍事参事官
21 牟田敬九郎	陸軍中将（砲）、下関要塞司令官
22 三井八郎治郎	実業家、三井家8代高福の四男、別荘地寄贈（一宮学園）
23 加納久朗	正金銀行役員、日本住宅公団総裁、千葉県知事
24 前田利定	通信大臣、農商大臣
25 袴田喜四郎	実業家、東京ガス、富国銀行役員

氏名	略歴
26 難波一	医博
27 俄国一	工・理博、日本刀研究家、東大教授
28 山本景行	海軍医大監
29 上原勇作	子爵、元帥（工）教育総監、参謀総長、陸相
30 佐竹義春	侯爵、秋田久保田藩（20万5千石）
31 河瀬眞	子爵、海軍少将、貴族院
32 大河内正敏	子爵、工博、東大教授、理化学研究所長、海軍参事官
33 清野長太郎	兵庫県知事、復興局長官
34 平沼騏一郎	男爵、法博、大審院長、検事総長、首相
35 栗津清亮	工博、有隣生命役員
36 伊達邦宗	伯爵、仙台藩（28万石）
37 北沢楽天	本名保次、画家
38 高石真五郎	毎日新聞編集主幹、IOC委員
39 福岡豊和	佐賀藩福岡敬明男爵の次男、大審院判事
40 川島忠之助	実業家、正金銀行役員、翻訳家
41 トーマス・ペイト	法博、日本政府法律顧問
42 加納久宜	子爵、一宮藩主、鹿児島県知事、貴族院、町長
43 伊吹山次郎	文学者、伊吹山徳司の次男
44 中村進午	法博、学習院大教授、東大教授
45 金田鬼一	四高、学習院大教授、『グリム童話集』翻訳
46 志田鉦太郎	法博、明大総長
47 大関増輝	子爵、下野黒羽藩（1万8千石）
48 白鳥省吾	詩人、一宮音頭、東浪見小学校校歌作曲
49 関和知	毎日新聞編集長、衆議院議員



白鳥省吾  
弘田龍太郎

民衆詩派の代表的な詩人、白鳥省吾は、晩年を一宮で過ごしました。明治23年、宮城県栗原郡に生まれた省吾は、幼少の頃から秀才と評判で、旧制中学時代には文芸誌に詩を投稿して入選するなど、詩人として才能の片鱗を示していました。その後、早稲田大学英文科で坪内逍遙などに学びます。省吾は東京に住んでいましたが、太平洋戦争が激しさを増した昭和19年に、一家全員で一宮（当時の東浪見村）の遍照寺に疎開し、10年あまりを過ごしました。そこで文学青年と語り合い、町の句会に出席するなど、地域の文化活動に貢献しています。

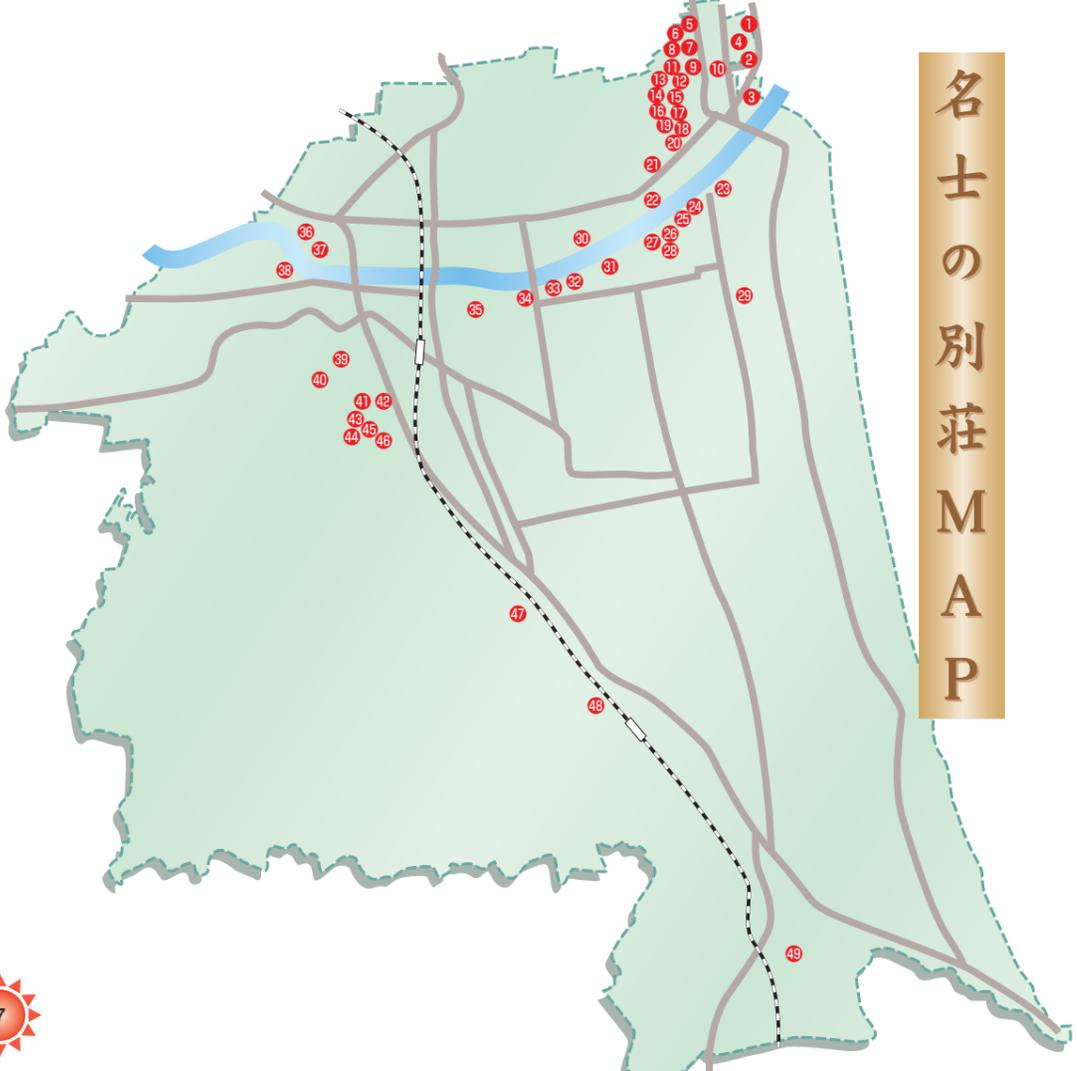
## 白鳥省吾 Shiratori Shogo



遍照寺



遍照寺から海を眺めることができる



### 名士の別荘MAP

かつて一宮は、数多くの名士に親しまれたまちでした。



南宮神社



北沢楽天の絵馬

## 北沢楽天

Kitazawa Rakuten

北沢楽天は、日本初の職業漫画家としてその名を知られ、「ボンチ絵」と評価の低かった風刺画を近代漫画として確立しました。日本画、洋画の基礎と西洋漫画の技法を学んだ楽天は、福沢諭吉に才能を認められ、時事新報社に入社し、明治38年に出版した時局風刺雑誌『東京パック』で絶大な人気を得ました。

楽天は明治末期、一宮川沿いに別荘を購入して滞りましたが、大正5年の大洪水で流されてしまいました。彼は唯一残った一枚の門扉に、犠牲者の供養と災害の記録のため、「神威顕現」と題して水魔克服の神を描き、南宮神社へ奉納しています。絵馬は、一宮川と別荘地の歴史が刻まれた貴重な資料として、平成15年、町指定有形文化財に指定されました。

